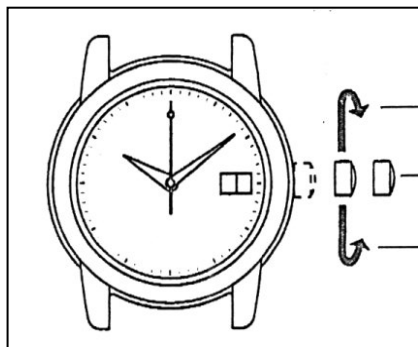


## 製品解説 570系 完成品

### <リューズ操作>



リューズ1段引き＝ カレンダー早送り(右回転)

リューズ2段引き＝ 時刻合わせ

### 時刻合わせのポイント

- ①秒針をあらかじめ**0秒の位置**で止める(リューズを引出す**2段引き**になっている)
- ②リューズを回して時・分針を正転(運針)方向に回して 標準時刻に(午前、午後に注意) **1分**先に合せる  
※この時に 4～5分進めてから 逆に戻して 合せたい時刻に合せる
- ③時報と同時にリューズを軽く押込む
- ④カレンダーを合せるには リューズ1段引き状態にして リューズを回します  
※1 この時に 時分針が回る、秒針が止って状態はリューズの引出し位置が 2段引きになっていますので  
1段押し込んでください  
又 時分秒針が そのまま運針して カレンダーが早送りしない時は リューズの回転方向が逆回転か  
1段引になっていないので**1段引き**出してください  
※2 カレンダーの修正は **午後9時から午前5時まで 行わないでください** 最悪 部品破損の心配があります  
※3 曜日の早送り機能はありません 曜日を合せる場合は 針回し状態で 順送りして合わせます  
逆方向での針回しでは 曜日は変わりませんので 注意してください

| 操作手順            | 実施目的                | 注意事項        |
|-----------------|---------------------|-------------|
| ①リューズを2段引きにする   | 針回し状態にする            | 秒針の止りを確認    |
| ↓               |                     |             |
| ②リューズを順方向に回す    | 曜日が順に切り替わる          | 逆回転では切替できない |
| ↓               |                     |             |
| ③時刻を合わせる        | 午前・午後の確認と分針は1分後に合せる |             |
| ↓               |                     |             |
| ④時報でリューズを奥まで押込む | 運針を確認する             | 確実に実施       |
| ↓               |                     |             |
| ⑤リューズを1段引きにする   | カレンダーを原送り機能にする      | ゆっくり 節度を確認  |
| ↓               |                     |             |
| ⑥リューズを順方向に回す    | カレンダーを早送りする         | 逆回転では切替できない |
| ↓               |                     |             |
| ⑦リューズを押込む       | セットが完了する            |             |